

ダイバーシティ推進 オフィス ニュース

Vol. 2

みずき ▶ Diversity Promotion Office News

平成 30 年 3 月 28 日

ダイバーシティ推進オフィスからご挨拶いたします!

はじめまして。平成 30 年 2 月 1 日付けで、男女共同参画室 ダイバーシティ推進オフィスのコーディネータ / 准教授として着任しました幅崎麻紀子です。これまで、大学や研究機関にて、ワーク・ライフ・バランス環境整備、意識啓発活動、相談・カウンセリング、女性研究者の裾野拡大、LGBT 支援等、ダイバーシティ推進活動に携わってきました。

専門は文化人類学で、埼玉大学の出身です。ネパールと日本をフィールドに、働くこととリプロダクション（産み・育てること）の両立をテーマに研究を行っています。最近では、日本に暮らすネパール系移住者の女性と子どもの異文化適応の支援活動も始めました。

ダイバーシティ推進オフィスのコーディネータとして、ライフイベントと研究・仕事との両立で悩んでいる皆様の声に耳を傾け、ともに解決策を考える、頼りになるパートナーとなることを心がけます。そして、多様な背景を持つ教職員の皆様が生き生きと活躍することができるよう、様々なニーズにきめ細やかに対応していきます。どうぞよろしくお願いいたします。



コーディネータ / 准教授
幅崎 麻紀子

ダイバーシティメリンが誕生しました!

ダイバーシティメリンちゃんが振っている虹色の旗は、多様性を意味します。教員・職員、常勤・非常勤、日本人学生・外国人留学生・社会人学生、ジェンダーによらず、障害の有無にも関わらず、埼玉大学で働き学ぶ多様な人たちが、各々に生きやすく働きやすい環境づくりをめざして、ダイバーシティメリンは埼玉大学におけるダイバーシティ推進の旗を振ります。



埼玉大学マスコットキャラクター
メリンちゃん

ダイバーシティ研究環境実現の 取組みを紹介します!

研究機構棟 3 階にダイバーシティ推進オフィスを開室しました。ここを拠点に、埼玉大学のダイバーシティ研究環境実現の取組みを推進します。

①子育て介護と仕事の両立など、すべての教職員が働きやすい職場環境づくり

ダイバーシティ推進オフィスは、男女問わず全ての教職員が働きやすい職場環境づくりのための取組を行います。ダイバーシティ推進オフィスニュース第 1 号では、＜ファミリー・サポート補助事業＞＜出産・育児・介護中の研究補助制度＞、＜国際共同研究スタート相談＞について、ご紹介しました。第 2 号では＜リスタート研究費助成制度＞＜ダイバーシティ相談＞をご紹介します（裏面参照）。



②女性教員の積極採用・上位職登用に向けて

女性教員の数を増やす取組をします。ポジティブアクションとして理工学研究科において、女性限定公募が導入されました。優れた女性教員を採用することで、埼玉大学の多様性を高め、大学全体の研究力向上に貢献することを目指しています。さらに、力ある女性研究者の姿を広く示していくために、女性研究者リーダーとして活躍する自然科学系の女性研究者に贈られる学長特別賞（みずき賞）が創設され、2 月 5 日彩の国女性研究者ネットワークキックオフセミナーで、初代受賞者である日原先生の授与式が執り行われました（裏面参照）。

③次世代の育成

活躍する女性研究者や、多様なワークライフバランスをとりながら研究を続けている女性研究者の姿をロールモデル集や HP を通じて女子大学生や、女子中高生に届けます。また、企業で働く先輩の話を聴いたり交流したりできるセミナーなどを開催します。

支援策紹介 1

リスタート研究費助成制度

こんな方にお勧めです!

出産・育児・介護等により、やむを得ず研究者としてのキャリアを一時中断し、その後研究活動に復帰した女性教員

リスタート研究費助成制度は、研究費を助成することで、復帰時の研究活動の促進または負担軽減を図り、研究活動を支援することを目的としています。

埼玉大学の女性教員で、以下2点の利用資格を満たす方が対象となります。

- (1) 産前・産後休暇、育児休業、介護休業（介護休業を含む）のため、概ね連続する3か月以上やむを得ず研究活動を中断した方
- (2) 申請時に、前項の休暇・休業の復帰から2年以内である方
助成金額は、100,000 円を予定しています。研究活動の遂行に直接必要な経費のみが対象となります。また、年度内の研究活動のために使用してください。

支援策紹介 2

ダイバーシティ相談



こんな方にお勧めです!

埼玉大学で働くすべての教職員（常勤・非常勤）

日々の仕事や暮らしの中での様々な困りごと、周囲の人に相談しづらい悩みに耳を傾け、ご本人と一緒に困りごとを解決する支援をしています。男性には相談しづらい困りごとや悩みにも女性の相談員が対応いたします。

- 結婚・妊娠・出産・育児・家事 ■ 介護
- ジェンダーやセクシュアリティ

<女性教職員限定>

- 研究室や職場の人間関係
- 学生指導や研究室運営 などなど・・・

まずは、電話でお申し込みください。相談の日時を調整します。
予約受付日時 平日 10:00 ~ 16:00
受付電話番号 048-767-4011 (内線 5185)

「彩の国 女性研究者ネットワークキックオフセミナー ～埼玉大学ダイバーシティ研究環境実現に向けて～」を開催しました。

「彩の国 女性研究者ネットワーク」とは、埼玉県的女性研究者、技術者が相互に交流し、活躍推進を図るために、埼玉大学と埼玉県が連携して立ち上げたプロジェクトです。その活動の第一歩となる本セミナーには、定員一杯となる 120 名の来場者が集まりました。

セミナーの第一部では、沖縄科学技術大学院大学男女共同参画 人事担当副学長を務めるマチ・ディルワース氏による基調講演「無意識のバイアスと女性研究者活躍推進」が行われました。

この中でディルワース氏は、女性研究者の登用の妨げになっている要因の 1 つに「無意識のバイアス」があることを指摘。

これは誰もが潜在的に持っている偏見のことで、性別もその対象になるといいます。そして、この偏見が女性の採用昇任に影響を与えていますが、無意識の内に行っているため自制するのが難しいのです。それ故、バイアスの影響を最小限にとどめるには「意識ではなく、プロセス——やり方を変えるということが必要」だと話されました。

セミナーの第二部では、埼玉県内の研究機関と企業で活躍する女性研究者 5 名、そして本学理工学研究科の川合真紀教授をパネリストに迎え、パネルディスカッションを開催。それぞれの組織で進めている女性研究者活躍推進の取り組みについて意見交換を行いました。



来場者で一杯となったセミナー会場



山口学長から「みずき賞」のトロフィーを授与される日原教授



パネルディスカッションに招かれたパネリストの方々

